

在宅医療・介護多職種連携協議会

研修部会

～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議の内容について検討
- その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）について検討

＜令和5年度＞部会内容

第2回部会

(令和6年2月16日)

- 議事
報告
- ・令和6年度 顔の見える関係会議について
 - ・意思決定支援 e ラーニングについて
 - ・令和5年度 各団体の研修会一覧

1

令和5年度第2回 顔の見える関係会議 圏域会議

テーマ：在宅療養者を守るための連携型BCP・地域BCPについて

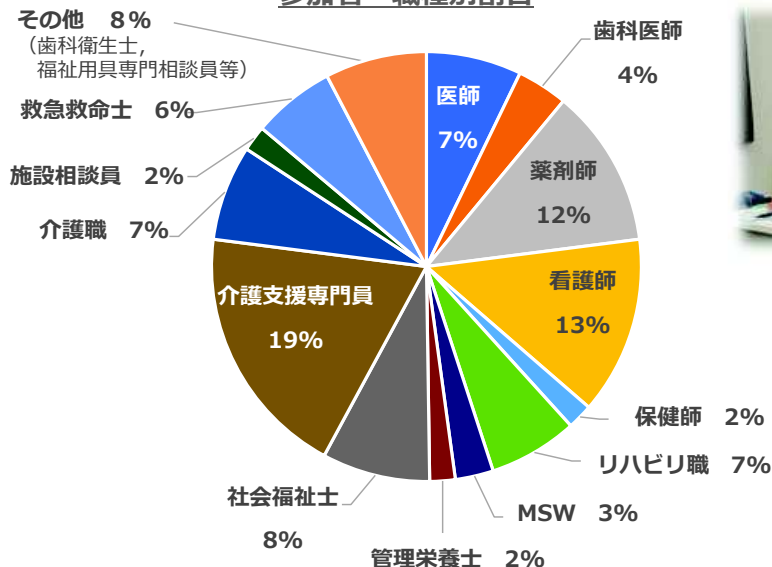
災害発生時を想定し、安否確認や情報共有の方法等についてグループワークを実施

日時：（北部）令和5年11月22日（水） （中央）令和5年11月29日（水）

（南部）令和5年11月17日（金） （東部）令和5年11月10日（金）

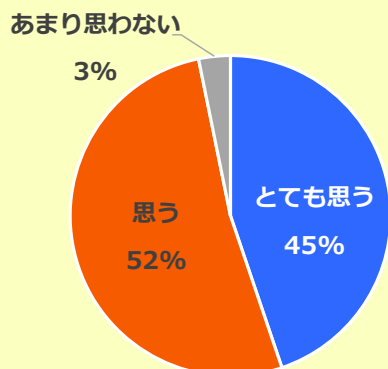
参加者：209名（北部：75名，中央：63名，南部：45名，東部：26名）

参加者 職種別割合

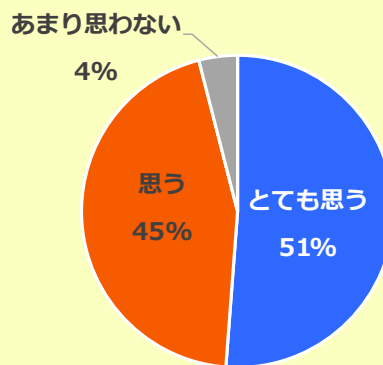


2

会議に参加し、今後も他事業所の多職種と連携できそうですか？



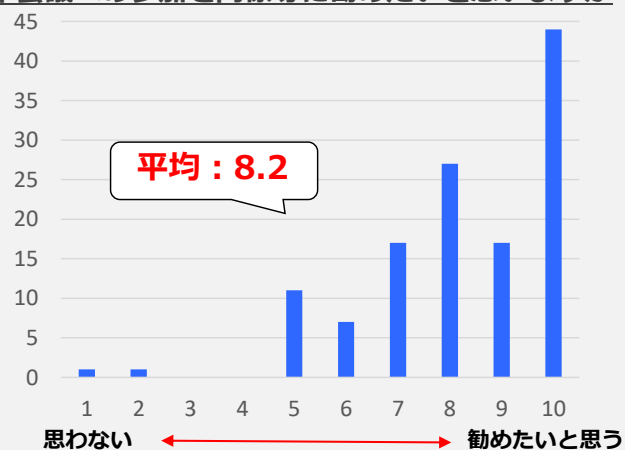
多職種への理解が深まりましたか？



会議の満足度は総合的に見て何点でしたか？



本会議への参加を同僚等に勧めたいと思いますか？



3

令和5年度第3回 顔の見える関係会議 アドバンス会議

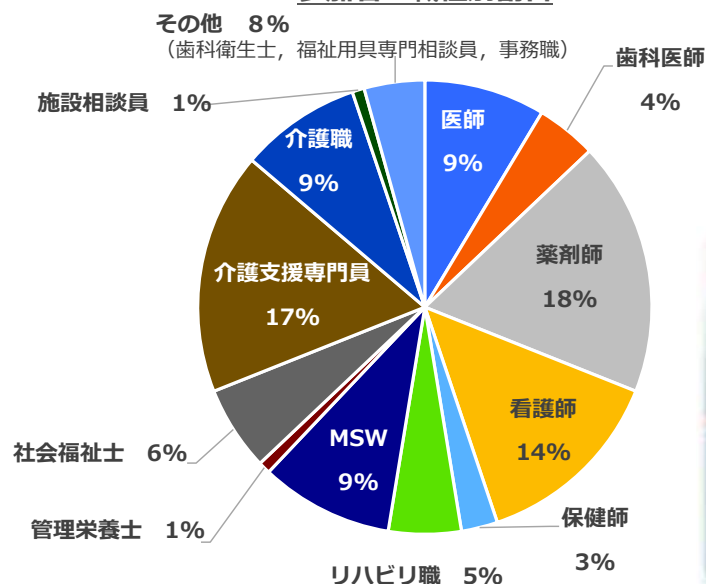
テーマ：独居高齢者の日常生活の支援から看取りまで

独居高齢者の事例を用い、課題に対する支援についてグループワークを実施

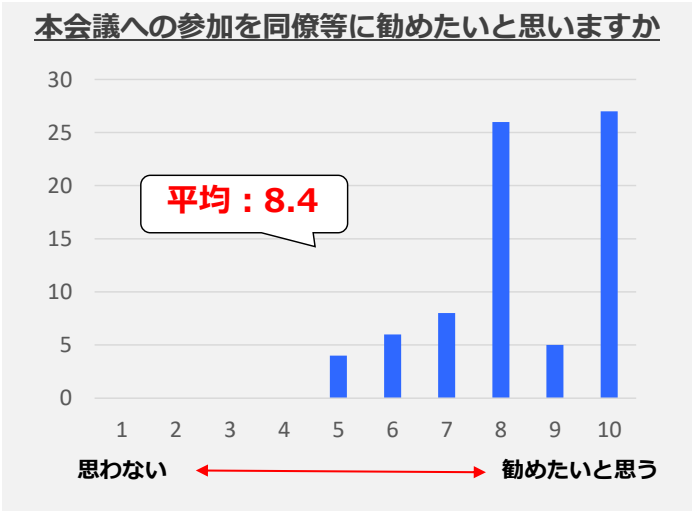
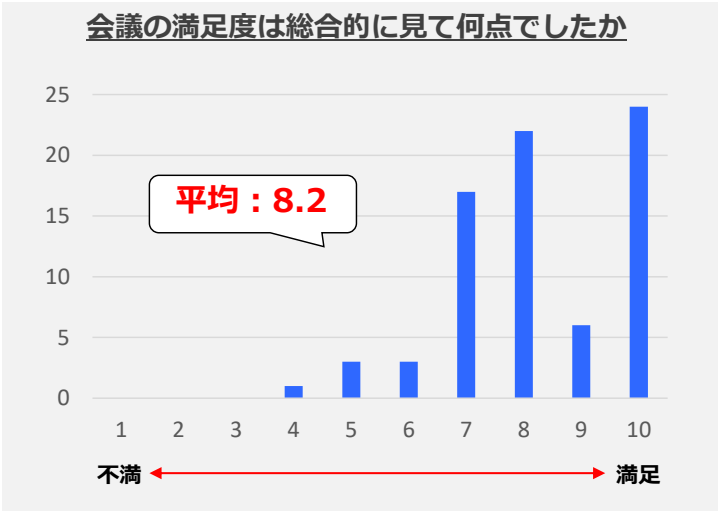
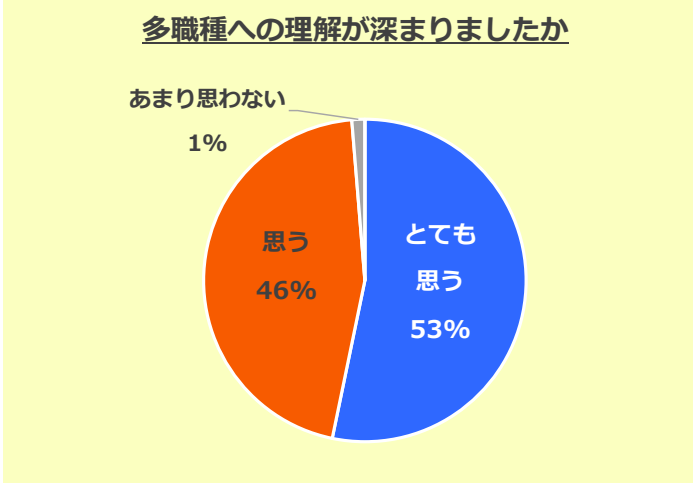
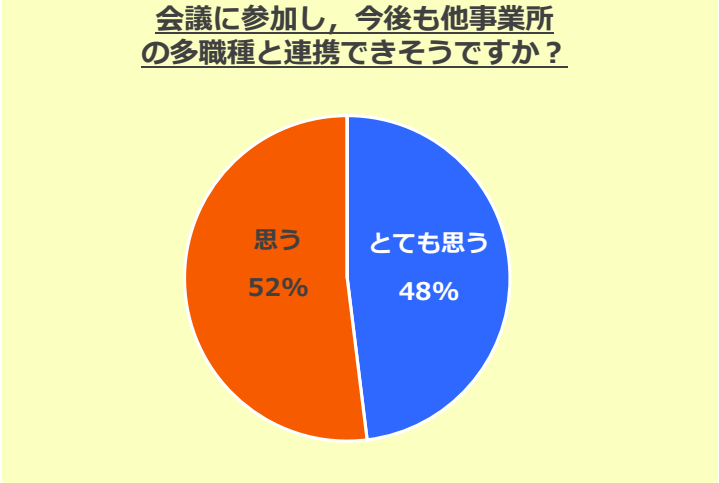
日時：令和6年2月2日（金）

参加者：116名 ＊初参加：21名、病院関係者：19名

参加者 職種別割合



4



5

令和5年度第2回研修部会
【議事】令和6年度顔の見える関係会議について

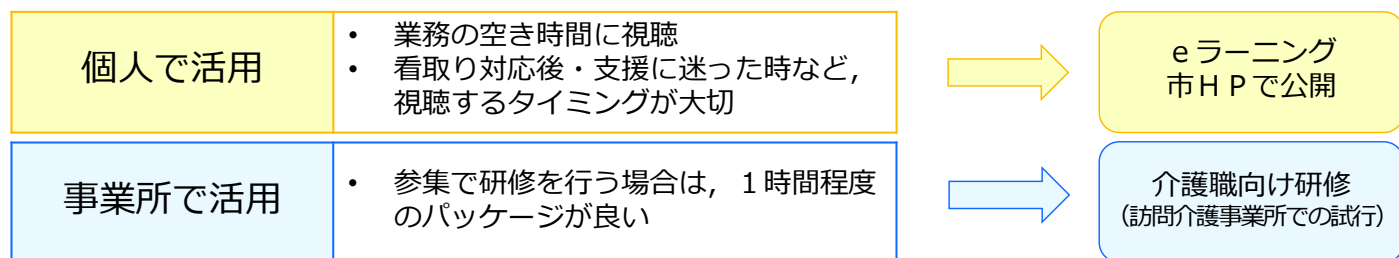
令和5年度第2回研修部会にて、会議の質（効果や満足度）の維持・向上及び、会議の運営をより良くするための、会議のあり方を協議しました。

部会で出たご意見	
実施回数	全体・圏域・アドバンスと計3回の開催は必要 (それぞれの会議の特色がある。市内の専門職も入れ替わりがあるため、多職種連携を浸透させていくためには各会議が必要)
内容	- より参加者同士が話せて、交流しやすい内容が良い(例：フリートークの時間を増やす・お互いの職種について理解できるような内容にする・もしバナゲームを実施する等) - 役割は進行役だけにし、KJ法ではない方法で話したい(書記や発表の担当になると、役割を果たすことに集中して、グループワークに十分参加できない)
参加者	1Gの人数が多いと、同じグループ内でも声が届かない。会議の目的を果たすためには人数制限もやむを得ないのではないかと(1Gの人数は5～6名が話しやすい) - 各会議の参加対象者を明確に区別することでより連携を促進する (例①全体会議は初参加者メインにする)(例②アドバンス会議は対外的に調整役となることの多い管理者・サービス責任者等をメインにする)
運営	- 研修部会員は年間での会議の出席回数が多いため、負担を減らす工夫があると良い (例：各職能団体に依頼するファシリテーターの人数を増やすことで、1人あたりの出席回数を少なくする等) - 圏域会議は地域包括支援センターの負担が大きい

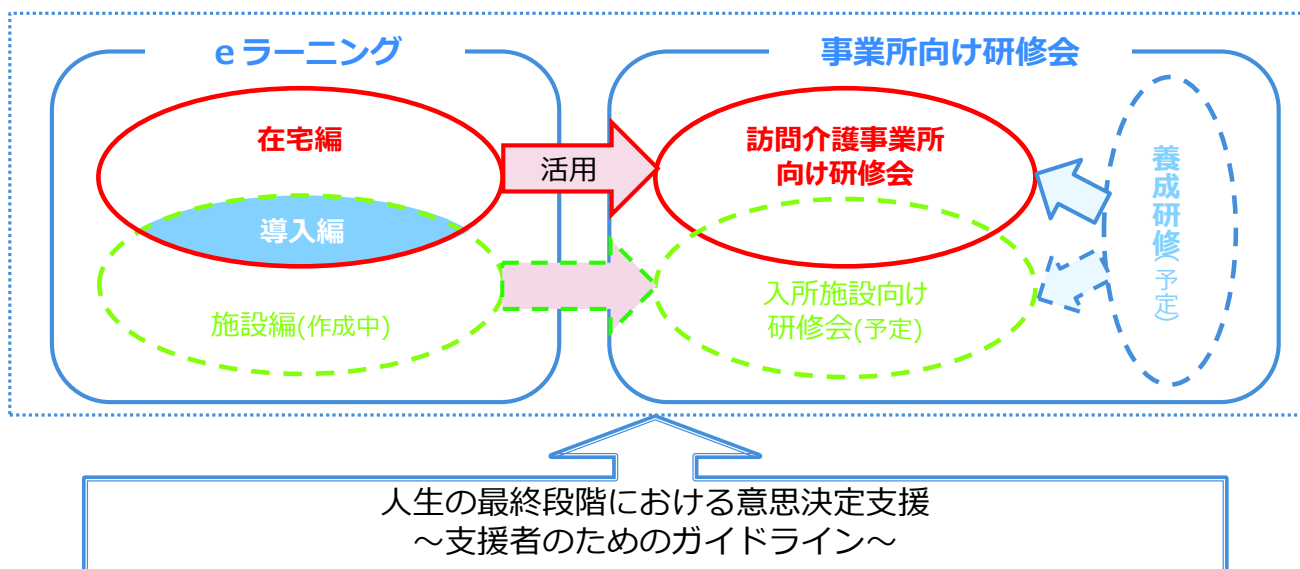
6

令和5年度第2回研修部会 【報告】意思決定支援eラーニングについて

令和5年度第1回研修部会でのご意見



【意思決定支援に関する研修のイメージ】



7

今後の予定

■令和6年度 研修部会

令和6年5月頃 第1回研修部会

【議事】令和6年度の顔の見える関係会議の企画

意思決定支援 支援者向け研修（eラーニング）など